



高月中だより

<校訓>

正しく
明るく
たくましく

長浜市立高月中学校

学校報 第12号

令和4年3月15日発行

文責：柴田 俊一

祝ご卒業

いよいよ本日、令和3年度の卒業証書授与式を迎えました。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、ご家族の皆様には、お子様の立派に成長された姿に喜びもひとしおのことと、心よりお祝い申し上げます。

本日、卒業生の皆さんが手にされた卒業証書は、中学校はもちろん、義務教育9年間の全課程を修了したという証です。この間、皆さんは、人が最も成長する大切な時期を過ごしてきました。目に見える体格はもちろん、目には見えない心も成長し、知恵も知識もふくらみました。また、友だちという、かけがえのない宝物も得たのではないのでしょうか。様々な経験をし、考え、悩む。大人になったとき、この時期が人生でもひととき大きな意味を持っていたことに気づくことでしょう。ここまで育ててくださったご家族の愛情、見守ってくださった地域の方々をはじめ、多くの人たちの支えがあったことを忘れてはなりません。お家に帰ったら、ご家族の方に無事卒業できたことの報告とともに、感謝の気持ちをぜひ伝えてください。

さて、皆さんは、4月からそれぞれ自分が信じた進路に向けて、新たな一步を踏み出すことになります。道に迷うことなく、自分が目指す自分になるために、どうか夢・目標をしっかりとって努力してほしいと思います。「できると思えばできる。できないと思えばできない。これは、ゆるぎない絶対的な法則だ。」との言葉を遺したのは、かの有名な画家パブロ・ピカソです。夢は見るものでなく、叶えるもの。可能性に満ちた皆さんの、ますますの成長・活躍を期待しています。

3年生愛校作業

学び舎に感謝の気持ちを込めて

3月9日（水）と10日（木）の2日間にわたり、3年生は愛校作業として校舎内外の掃除やワックスがけを行ってくれました。3年間使った学び舎ともいよいよお別れとなります。感謝の気持ちを込めて、全員で手分けして校舎をきれいにしてくれました。

校舎の外回りでは、外壁や天井に付いた異物やごみをほうきで取り除いてくれました。校舎内では、廊下の雑巾がけや下駄箱の掃除、教室の床の汚れ落としや窓ガラス・戸のサッシ、黒板の枠やロッカーなど普段掃除できないところをぞうきんやブラシ、スポンジなどを使ってきれいにしてくれました。また、最後の仕上げとして、教室のワックスがけを行ってくれました。ワックスがけをすると床面に艶が出て見違えるように蘇りました。



3月の行事予定

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更や中止になることがあります。

- 14日（月） 学校安全日
卒業証書授与式前日準備
- 15日（火） 卒業証書授与式
- 16日（水） 県立高校合格発表
- 18日（金） 2年ま☆ナビ確認テスト
PTA監査・本部役員引継
- 21日（月） 春分の日
- 23日（水） 県立高校二次選抜検査
- 24日（木） 修了式
- 25日（金） ～春季休業（～4月7日）
県立高校二次選抜検査発表

★離任式は行いません。教職員の異動については、メールにより連絡いたします。



令和3年度学校評価結果の考察について

前号の高月中だよりで、令和3年度の学校評価の肯定的評価の一覧をお知らせしました。今回は、結果から見えてくる成果や課題について、前年度結果とも比較しながら、考察をまとめました。

＜全体的な傾向＞

- ◇全般的に教員の自己評価が高く（甘く）、保護者評価との間に大きな隔たり（ズレ）が生じている。
- ◇前年度に引き続き、コロナ禍で「地域学習」や「部活指導」、「学校行事」等での様々な制限があったことが、評価に影響している。

＜成果＞

①教員の意識の向上

- ・前年度、教員対象の評価で、教育の諸活動の充実・改善に対する意識の低さが指摘されていたが、多くの項目で改善が見られた。

※授業評価・学習指導：80%⇒93% 家庭学習：57%⇒96% 生活指導：81%⇒96%
あいさつ：71%⇒100% 道徳・人権：81%⇒98% 部活指導：48%⇒81%

②学校行事に対する意識の改善

- ・コロナ禍で様々な制限があったが、生徒・保護者の学校行事に関する満足感が高くなった。

※学校行事：生徒 84.8%⇒90.4%（+5.6%） 保護者 41.6%⇒60.2%（+18.6%）

③あいさつに対する意識の向上

- ・あいさつに対する教員の意識と比例して、特に、保護者や地域の評価が高まった。

※保護者：62.7%⇒67.9%（+5.2%） 地域：71.4%⇒92.3%（+20.9%）

④保護者・地域への情報発信の充実

- ・学校HPや各種通信による継続的、積極的な情報発信により、保護者の学校教育に対する関心の高まりや理解が図られた。 ※情報発信：81%⇒89%（+8%）

⑤ていねい・親身・わかりやすい指導

- ・前年度の課題「よりていねいに・より親身に・よりわかりやすい」指導について、若干の改善が見られた。

※丁寧な学習指導・わかりやすい授業⇒保護者：+6.1%、生徒：+2.7%
いじめ・トラブルへのていねいな指導⇒保護者：+4.7%、生徒：+1.7%
親身な教育相談⇒保護者：+0.6%、生徒：+5.9%

＜課題＞

①家庭・地域に開かれた教育活動の推進

- ・教員意識と保護者・地域の満足度との大きなズレがある。教員はやっているつもりだが、保護者や地域にはあまり伝わっていない。また、成果が見えていない。

☞情報発信の更なる強化

通信・便り、HP・メール、授業参観、保護者懇談会・説明会、地域関係者との会合等

☞「見える化」＝頑張っている姿と「聞こえる化」＝コミュニケーションの充実

家庭・地域での子どもの姿や声、家庭学習や地域交流活動の推進

②学習指導のより一層の充実

- ・わかりやすい授業づくりと家庭学習習慣の更なる充実に向けて、引き続き、全校体制で取り組んでいく必要がある。とりわけ、家庭学習の取組には依然として課題が見られる。

☞校内研究の進化・発展

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

家庭学習の質的・量的向上に向けた啓発と協力体制づくり

生活習慣の改善（スマホ・ゲームの使用に関するルール作り、啓発等）

③コロナ禍での行事や教育活動の工夫

☞感染対策との両立（例：修学旅行、体育祭、部活動、授業参観、地域活動等）と協力依頼